

昭和46(1971)年



市制施行の式典

- 昭和46(1971)年 ● 海老名市誕生、市制施行宣言 ①
- 昭和47(1972)年 ● 人口5万人到達
- 昭和48(1973)年 ● 「さつき町」誕生
- 小田急線・相鉄線海老名駅が現在地に移転
- 昭和49(1974)年 ● 「国分寺台」誕生
- 昭和50(1975)年 ● 相鉄線かしわ台駅・さがみ野駅開業
- 昭和51(1976)年 ● 第1回えびなふるさとまつり開催 ②
- 昭和55(1980)年 ● 文化会館・中央公民館開館
- 「浜田町」誕生
- 昭和57(1982)年 ● 郷土資料館「海老名市温故館」開館 ③
- 昭和59(1984)年 ● 消防署南分署開署
- 昭和60(1985)年 ● 図書館・教育センター開館
- 海老名中央公園全面開園
- 昭和62(1987)年 ● 国鉄相模線海老名駅開業
- 東柏ヶ谷近隣公園開園
- 昭和63(1988)年 ● 人口10万人到達

昭和57(1982)年



③

海老名村役場庁舎を改修して温故館として開館

昭和

町から市となり、市としての歴史を歩み始めた昭和時代。道や駅などの生活の基盤が整備され、市民生活の礎を作りました。



現在のレンブラントホテル海老名の場所にあった旧市庁舎



②

昭和51(1976)年

市制施行5周年を機に始まった「えびなふるさとまつり」。現在の「えびな市民まつり」の前身です。

海老名駅東西のあゆみ 昭和編

海老名駅はもともと現在の中央1丁目押堀交差点付近にありました。昭和48(1973)年に現在地へ移設され、田畑や空き地が広がる中に新駅舎が完成してからは、市とともに発展していきました。



旧駅舎[昭和40年代]



現駅舎[昭和62年]



〔昭和48年〕



懐かしの海老名 みんなの思い出写真

市民の皆さんから募った市制施行以降の写真です。思い出の中の海老名も次代へつなごう。

諏訪神社の祭り



昭和55(1980)年

再開発工事が始まる直前の海老名駅



平成13(2001)年

杉久保のかやぶき屋根の民家と農作業用トラック



昭和50(1975)年ごろ

ニチイ海老名店のスケートリンク



平成4(1992)年

有馬高校付近のレンゲ畑



昭和62(1987)年

上棟式で餅まき



かかしまつりと高架化前の小田急線



平成12(2000)年

海老名中央公園の七重の塔



平成10(1998)年

昭和50(1975)年ごろ

